

第53回農林水産祭・ 「実りのフェスティバル」を開催

農林水産祭は国民の皆さんの農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるために、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施しています。また、過去1年間の農林水産祭参加行事において農林水産大臣賞を受賞した者の中から、優秀農林水産業者に対し、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会長賞の授与を行っています。

各賞は、農産部門、林産部門、水産部門、むらづくり部門等の7部門に授与されます。



●平成26年度(第53回)
農林水産祭天皇杯等の選賞について(農林水産省HP)
<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/hodo/141015.html>



また、10月31日(金)から11月1日(土)にかけてサンシャインシティワールドインポートマートビル(東京都豊島区)において、「実りのフェスティバル」が開催されました。「実りのフェスティバル」では、農林水産業施策の紹介や、都道府県および中央・地方農林水産団体等による技術や農林水産物についてのパネル展示や实物での紹介がされたほか、各地の特産品が即売されました。

■内閣総理大臣賞
牧野木材工業株式会社
(代表 牧野淳一郎氏)岡山県真庭市



江戸時代末期に薪炭問屋として創業、戦後製材業に転身した同社は、高度な乾燥技術等により品質の安定した製材品の製造に努めるとともに、製材過程で発生する樹皮等を乾燥機のボイラー燃料に使用し、乾燥コストの低減とCO₂排出削減を積極的に推進するとともに、真庭地域の統一ブランド「美作材KD」のブランド力強化にも大きく貢献しています。

天皇杯等三賞受賞者
(林産部門)

■天皇杯
山川弘保氏
岐阜県郡上市



医師としての病院勤務の傍ら、平成14年から家業の林業を継承し、「先祖から受け継いだ山の価値を高めて次世代に引き継ぐ林業」を基本理念として、休日には家族とともに林内作業に従事しています。

また、新技術の導入を積極的に行っているほか、中間土場の造成や「木の駅プロジェクト」の立ち上げなど、地域林業にも大きく貢献しています。

■日本農林漁業振興会会长賞
有限会社やまなみきのこ産業
(代表 坂本憲治氏)大分県玖珠郡九重町



平成元年から菌床しいたけ栽培を開始し、通常のしいたけに比べ肉厚・大型なしいたけ生産による差別化を図り、商品価値を高めています。

また、大径化したクヌギをチップ化し菌床ブロックに活用することで、クヌギ林が更新されること等による地域資源の有効活用と環境保全に寄与するとともに、高齢者でも働く場所として地域に貢献しています。